



平成 26 年 8 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社ジオネクスト
代表者名 代表取締役社長 浅井 克仁
(JASDAQ・コード 3777)
問合せ先 取締役経営企画管理本部長 成瀬 岳史
電話番号 03-5669-0112

特許実施契約締結のお知らせ

当社は平成 26 年 8 月 28 日開催の取締役会において、当社子会社の株式会社遺伝子治療研究所と学校法人自治医科大学（以下、「自治医大」という。）の間で、自治医大が出願中の特許である「神経系細胞への遺伝子導入のためのアデノ随伴ウイルスビリオン」に関し、特許実施契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特許実施契約の趣旨

当社は平成 26 年 5 月に先端医療関連事業を行う株式会社遺伝子治療研究所を設立いたしましたが、このたび同社と自治医大の間で、自治医大が出願中の特許である「神経系細胞への遺伝子導入のためのアデノ随伴ウイルスビリオン」(PCT/JP2011/075240) の日本国内及び海外全域における実施権に関し、期間 20 年の特許実施契約を締結いたしました。

本件特許における発明の改変型アデノ随伴ウイルス（改変型 AAV）は、AAV が血液脳関門を透過し神経疾患の遺伝子治療に適していることに加え、改変することによって目的とする遺伝子を脳脊髄の神経細胞選択的に発現することを可能にしたものであります。筋萎縮性側索硬化症（ALS）やアルツハイマー病等の神経性疾患の治療においては、脳や脊髄で可能な限り多くの神経細胞に遺伝子導入することが望まれておりますが、この改変型 AAV ベクターはある種の方法により遺伝子導入効率を向上させているほか、神経細胞特異的に遺伝子を発現させることも実現しています。

AAV は遺伝子治療のベクターとして欧米においても臨床研究に用いられており、病原性がなくウイルス増殖能も欠如している点において安全性が高いため、世界的に注目されております。当社といたしましては、本件特許の「改変型 AAV」を応用し、ALS やアルツハイマー病等の神経性疾患の治療を早期に実施することを計画しており、先行する欧米の遺伝子治療を追随し、日本国内のみならず海外、特にアジア・中近東地域での遺伝子治療の実施を展開することを視野に入れております。

2. 今後の見通し

本件特許を応用した神経性疾患の治療が開始された場合には、当社連結業績に一定の影響を与えるものと考えておりますが、現段階では軽微なものを見込んでおります。

以上